



全国高校総体出場・中谷さん

全国の悔しさ、卒業後晴らす



芽高新聞

再刊301号
北海道芽室高等学校
新聞局
河西郡芽室町東めむろ
1条北1丁目6
発行責任者
鈴木 菜々美

8月3日から7日にかけて三重県の全国高等学校総合体育大会に出場した、中谷龍生さん(3B)に話を聞いた。

8月3日から7日に三重県で行われた全国高等学校総合体育大会(陸上競技)やり投げに出場した中谷龍生さん(3B)。結果は予選落ちと悔しいものになってしまった。

今後、陸上を続けるのかについては「現在、公務員志望で卒業後は社会人として陸上をしたい」と語った。また「社会人の大会は数多く、上に進むのが難しいので頑張



伊勢神宮を背にピスサインの中谷龍生さん(3B)



中川先生の焼肉を食べる。

やり投げの様子

総文祭写真

他県と方言で交流

8月7日から8月10日に行われた信州総文祭。写真部門に廣瀬詩菜さん(3C)が参加した。



全国出場をした廣瀬詩菜さん(3C)

全国大会の会場は「他県の方言が入り混じっていた」ようで、廣瀬さんは「北海道から来たというだけで、色々な人に話しかけられた。また、「ゴキブリはいるの?」と聞かれた」そう。

今後の目標は「誰が見てもかっこいいと思う写真を撮り、9月の全道大会に繋がる支部大会に向けて頑張りたい」と語ってくれた。(五十嵐)



3年A組佐々木麗雄です。9月22日生まれ、血液型はA型です。趣味は部活で、吹奏楽部のバスケットを担当しています。今年の漢字は初めての「こ」と意気込みを語った。

また、全国での思い出は「中川先生にインターハイに出場できたから焼肉を奢ってくれるという約束をしており、それが叶った」と笑顔。

最後に「全道までは、順調に行けたが全国ではあまり良い結果を出せず申し訳なかった。応援してくれてありがとうございます」と語った。(鈴木菜)

ソフトテニス・全道へ



地区大会で5位に入賞した飯田遥さん(2A)、工藤侑羽さん(2A)が8月10日に旭川で行われたソフトテニス競技北海道ブロック予選会に出場した。2人は「強い高校に勝って嬉しかった」と語り、「楽しんで、ベスト8に入る」と今後の目標を語った。(鈴木麻)

4年連続吹奏楽部全道出場



全道出場を喜び合う3年生

8月4日・5日、第36回帯広地区吹奏楽コンクールが行われた。芽室高校はA編成の部に出場、課題曲「エレンシウスの祭儀」自由曲「ローマの祭り」を演奏し金賞を受賞、全道大会進出を果たした。

今回の結果で部長の小林流華さん(3A)は「演奏が終わって全道へ行く自信があった。結果を聞いて全員で喜べた」また、「多くの方々に芽室の演奏を聴きたいと思うような演奏をした」と語った。(五十嵐)

硬式テニス3位入賞



笑顔で気持ちを語る村上大輝さん(1D)と、渡邊天城さん(1D)右

7月29日から8月1日に帯広の森テニスコートで行われた全十勝ジュニアテニス大会で渡邊天さん(1B)、村上大輝さん(1D)ペアが3位を獲得した。渡邊さんは「勝てて嬉しかった。芽室の名を刻めた」と語った。

今後の目標は大会や高体連で1回でも多く勝つことと意気込んだ。(鈴木菜)

今月の雑学

森がお送りする知って損無し雑学コーナー！
①ゴリラの学名はゴリラゴリラゴリラ。
②本格的な高級カレーが普通のルーでできる。
やり方は水の代わりにホールトマトをルーと一緒にするだけ！トマトジュースでも可。(森)



2学年
インターシッ
44名参加

「適性を知る良い機会」

7月26、27、30日に2年生の就職希望者44名が、インターシッップを体験した。その中で、ジョイフルエーカー、芽室町役場、ザ・本屋さんでインターシッップを体験した3名と、インターシッップ全体についてを月居先生に取材した。



と案作(2)人橘表たし鈴と田ぎ威いすきなりこ

「アサギ」集
真剣な眼差しで
古を聞く鈴木
葉子さん(2A)左と
築城薫子さん(2A)右



今回のインターシッップの体験先は、消防署や本屋、美容室、病院、役場など多岐に渡る。橘ジョイフルエーカーのインターシッップに参加した安藤蘭さん(2C)は、「積極的に動いて仕事を探した。色々なことを学べてよかった。将来のことを深く考えることができた」と前向きに語る。芽室町役場でのインターシッップに参加した鈴木華凛さん(2A)は、「役場には堅いイメージがあったが、職員の方々がとても優しく楽しくできた。これから社会に出たら、言葉遣いや礼儀、あいさつなど改めてしっかりと行わないといけないと思った。」

「一つ一つの仕事を丁寧に、妥協しないことを学んだ。ダンボールを移動させる作業は力仕事で、結構大変だった。レジ場を担当させて頂いた時はお客さまを待たせないよう、商品を袋に入れる作業を素早くできるように頑張った」と胸を張る。このインターシッップについて、2年生の進路指導部の月居由香先生は「このインターシッップは、実際に自分のなりた職業が本当に合っているのか考え、適性を知る良い機会」と話してくれ

整理整頓 は人生を 変える



整理整頓について話す菅野先生

「一つ一つの仕事を丁寧に、妥協しないことを学んだ。ダンボールを移動させる作業は力仕事で、結構大変だった。レジ場を担当させて頂いた時はお客さまを待たせないよう、商品を袋に入れる作業を素早くできるように頑張った」と胸を張る。このインターシッップについて、2年生の進路指導部の月居由香先生は「このインターシッップは、実際に自分のなりた職業が本当に合っているのか考え、適性を知る良い機会」と話してくれ

菅野先生曰く、「これから使う『かもしれない』という物のうち、8割9割は使わないので処分すべき。どうしても迷うものはプリント類ならスキャンするか写真を撮ってデータ管理する」という技を教えてくれた。だが、これだけでは足りない。この整頓術は自分の部屋だけでなく普段の学校生活でも活用できるのだ。例えば短時間(5

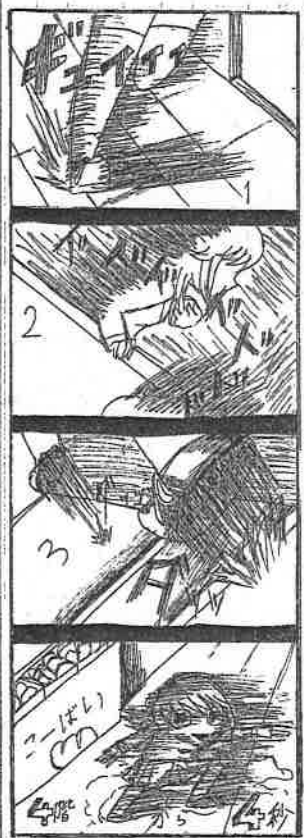
菅野先生が語る断捨離術

10分以内)で終了できる作業の場合、「手元に残さず即座に処理する」のが大事だ。

提出物は早急に処理

そして「提出物は締切日に出せばいいと思わずすぐ出せる物は1日でも1時間でも早く提出できるように心がけてみるなどできることは沢山ある。理想は、貰ったその日の翌日には提出できるのが望ましい」とのこと。最後に菅野先生より「物を探す時間自体が無駄。人生を2倍、3倍にも損したことになる」と語ってくれた。以上を心掛け整理整頓すると、時間を有効活用できるのでは。(高砂)

※今回セリフが
ありません。
効果音のみです。
主人公が
全然でない
ケママカ
作・YKAS



先生からの 挑戦状

今回は 国語の時間講師、
田中美佐枝先生から出題!

中世の思想家、兼好は
その深い洞察で人生の深
淵を示す一方で、極めて現
実的な真理を提示し、七百
年後に生きる私たちの共感
を誘います。さて、君たちは
どんな人を「よき友」と考えま
すか?



答えは、次号です!

『徒然草』で有名な兼好法師
が述べる「よき友、その一はどんな人
でしょう?
「ちなみに、その二は『医師』、その三
は『知恵ある人』です。」

編集後記

今回の新聞は先輩方が引退してから初めての新聞です。先輩方が教えてくれた知識を活かしつつ、進化・成長していけるように1、2年で協力したいと思ひます。応援よろしくお願ひします。(森)

- 顧問
局長 鈴木菜々美 (2D)
編集長 森 仁美 (2A)
相川 愛実 (2B)
根元 七穂 (2A)
高砂 萌衣 (2B)
鈴木 麻央 (2C)
五十嵐千歳 (1C)
小川 結衣 (1C)
石森由香利 (1C)
鶴身 幸一